



魅力いっぱいの愛知県観光ガイド

こっそり
“なごやめじ”も
いいけど…

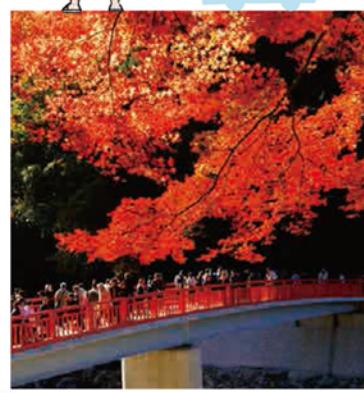


だけじゃない。



愛知

おもしろ愛知の魅力
再発見♪



"Heart" of JAPAN
~Technology & Tradition~

<http://kotteri.jp>



尾張・名古屋 エリア



尾張名古屋は
城でもつ
徳川家のおひさまとは
今も昔も人でござる
場所だがね～

① 津島神社 (津島市)

全国に3000社点在する天王信仰の總本社。
除疫、授福の神である牛頭天王社(ごずてんのうしゃ)とも呼ばれ、京都の八坂神社と並ぶ天王社として崇められています。

四 名鉄津島線「津島駅」より徒歩約15分 ☎ 0567-26-3216



② 間々観音 (小牧市)

通称「おっぱい寺」。全国でも珍しいお乳のお寺で、昔から、祈願すれば母乳に恵まれるといわれています。本堂前にある乳形の石像に礼拝をして、タワシで自分の気になる体の部分と石像を交互になぐると願いが叶うそうです！

四 名鉄小牧線「小牧駅」よりバス、「間々乳観音前」バス停より徒歩約10分 ☎ 0568-73-6173

名古屋おもてなし武将隊

©2009 Nagoya Omotenashi Busho-tai Secretariat
<http://busho-tai.jp/>

名古屋にゆかりのある武将6人と陣笠隊で結成された武将隊と
服部半蔵の忍者隊。迫力満点の演武パフォーマンスが魅力です。

徳川家康と服部半蔵忍者隊

<http://www.ninja-japan.com>

③ 国宝 犬山城 (犬山市)

国宝として指定されている5城のうちの1つ犬山城。天守は望楼型といわれ、現存する日本最古の様式で、貴重なお城として脚光を浴びています。

四 名鉄犬山線「犬山駅」より徒歩約20分 ☎ 0568-61-1711



④ 名古屋城本丸御殿 (名古屋市)

名古屋を代表する観光スポット名古屋城。かつて「近世城郭御殿の最高傑作」と呼ばれた本丸御殿の復元工事が完了し、2018年6月8日に全面公開されました。

四 地下鉄名城線「市役所駅」より徒歩約5分 ☎ 052-231-1700

⑤ 東山動植物園 (名古屋市)

イケメンゴリラ・シャバーニだけじゃありません！日本でココだけの動物もいっぱい！動物の生態を間近で見たり学んだりできる工夫がいっぱいです。

四 地下鉄東山線「東山公園駅」より徒歩約3分 ☎ 052-782-2111

知多 エリア



伊勢湾と三河湾に
挟まれている
知多半島！
海にグルメに温泉に
楽しいこと
いっぱい

① 恋の水神社 (美浜町)

女性に大人気の縁結びの神社。

参拝用の紙コップに願いごとを書き、境内の湧き水を半分まで注ぎお供えすると願いが叶うと言われています。

四 名鉄知多新線「知多東田駅」より徒歩約20分 ☎ 0569-87-3133



② 日間賀島・篠島 (南知多町)

名古屋から一番近い離島。日間賀島は1時間、篠島は2時間ほどで歩いて1周できます。タコとフグに代表される海の幸満載のグルメの島でもあります。

日間賀島

四 名鉄河和線「河和駅」から徒歩約8分の河和港より高速船で20分 ☎ 0569-68-2388(日間賀島観光協会)

篠島

四 名鉄河和線「河和駅」から徒歩約8分の河和港より高速船で25分 ☎ 0569-67-3700(篠島観光協会)



③ 新美南吉記念館 (半田市)

「おぢいさんのランプ」「ごんぎつね」などで知られる童話作家・新美南吉の資料館。童話のシーンを再現したジオラマや南吉の下宿部屋など、南吉とその物語の世界をリアルに感じることができます。

四 名鉄河和線「半田口駅」より徒歩約20分 ☎ 0569-26-4888



④ 矢勝川堤の彼岸花 (半田市)

9月下旬になると、新美南吉がよく散策したという矢勝川堤を真っ赤な彼岸花が覆い尽くします。幻想的な「ごんぎつね」の世界を楽しんで。

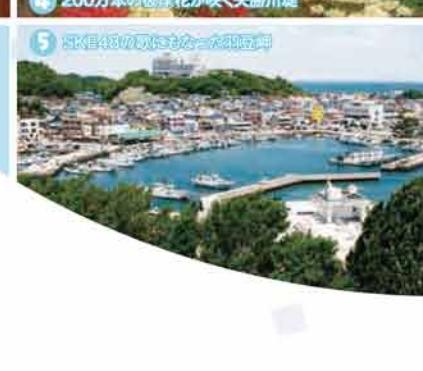
四 名鉄河和線「半田口駅」より徒歩約20分 ☎ 0569-32-3264(半田市観光協会)



⑤ 羽豆岬 (南知多町)

SKE48の歌にもなった「羽豆岬」。天然記念物ウバメガシのトンネルが続く「恋のロマンスロード」の先には伊勢志摩まで360度を見渡せる檜の展望台や歌碑があり、SKEの聖地になっています。

四 名鉄河和線「河和駅」よりバス、「師崎港」バス停より徒歩約5分 ☎ 0569-62-3100(南知多町観光案内所)



楽し! 美し!
盛り上がる!

あいちのお祭り

勇壮に、華麗に、そして奇想天外に…その土地ならではの粋と伝統を感じさせてくれる愛知のお祭り。熱き祭りびとたちのエネルギーとカッコいい姿にホレボレ♪。



▲ 豊浜鯛まつり 7月

海の男たちに担がれた巨大鯛が、まるで生きているかのように海中を泳ぎます。海外の切手にも登場した奇祭です!

問 知多郡南知多町大字豊浜

☎ 0569-65-0004 (豊浜商工会・青年部鯛まつり委員会)



▲ 尾張津島天王祭 7月

信長や秀吉も愛したという歴史ある川祭り。まきわら舟が天王川を漕ぎ渡る「宵祭」はとても幻想的です。

問 津島市宮川町 ☎ 0567-28-8051

(津島市観光協会)

尾張徳川家の雛まつり 2~4月

尾張徳川家の姫君のためにあつらえられた雛人形や雛道具は、いわば実際の婚礼調度のミニチュア版。その豪華で精緻な美しさには目を見張るばかりです。

問 名古屋市東区徳川町1017 ☎ 052-935-6262(徳川美術館)



特別展

豊橋祇園祭

手筒花火発祥の地と言われる吉田神社で毎年7月中旬に行われる「豊橋祇園祭」は、古くは「日本三大花火大会」と称されるほど盛大な花火大会です。轟音とともに勢いよく舞い上がる火柱の迫力は圧巻!

問 豊橋市閑屋町2番地

☎ 0532-53-5528

(豊橋祇園祭奉賛会事務局)



▲ 三河一色大提灯まつり 8月

最大10mもの大提灯に献灯するまつり。提灯には色鮮やかな絵が描かれており、古典の絵物語を読み解くのも楽しい!

問 西尾市一色町一色宮添

☎ 0563-73-4276(諏訪神社)



▲ 犬山祭 4月

三層からなる車山の迫力ある方向転換「どんでん」「車切り」が見もの。13輪の車山すべてが奉納からくりを披露するのは全国でも唯一のものです。夜桜に浮かぶ祭りにぎわいは、まるで錦絵のような美しさ。

問 犬山城下町

☎ 0568-61-6000

(犬山観光案内所)

▲ 高浜おまんと祭り 10月

約200年の歴史を誇る駆け馬奉納行事。鈴飾りや造花を背負った馬が疾走する中、若い衆らが馬に乗ろうと果敢に飛びかかります。

問 高浜市春日町

☎ 0566-52-2288(高浜市観光協会)



▲ 名古屋まつり 10月

昭和30年に始まった名古屋の秋を彩る最大の祭。メインは何といっても名古屋にゆかりのある3人の武将、信長・秀吉・家康が、約600人を従えて行進する「郷土英傑行列」です。歴史と伝統に彩られた市指定文化財「山車揃」や市文化財「神楽揃」、華やかなフランジャーも登場しますよ。

問 名古屋市栄など

☎ 052-972-7611(名古屋まつり協進会)



▲ 江南藤まつり 4~5月

長く優雅な花房から短く可憐なものまで12種類約60本の藤が咲き誇るなか、江南市ゆかりの7人の戦国武将行列など多彩な催しを開催。

問 江南省前飛保町寺町202
☎ 0587-54-1111

(江南藤まつり運営協議会事務局)



問 知立市西町神田12(知立公園)
☎ 0566-83-1111(知立市観光協会)

▲ 花しょうぶまつり 6月上旬が見ごろの花菖蒲。紫や白の花が庭園に咲きそろう姿は、涼やかでとっても素敵。花しょうぶまつりの期間中は、夜間ライトアップも行われます。



問 蒲郡市金平町一之沢28-1(形原温泉あじさいの里)
☎ 0533-57-0660(形原観光協会)

▲ あじさい祭り 形原温泉「あじさいの里」に植栽された、青、ピンク、白など20種類を超える色とりどりの花5万株が咲き乱れます。夜間にはライトアップされた幻想的な風景も。

シビれる
技術に感動!

あいの産業観光

自動織機の発明にはじまり自動車・鉄道・航空宇宙分野に至るまで、日本の産業の歴史を切り拓き支えてきた「モノづくり王国・愛知」。産業の歴史や技術が間近に見られる!! 体感できる!!



▲トヨタ博物館

常設展示されている、おしゃれでカワイイ世界のクラシックカー約140台! 自動車誕生から100年の発達史や車社会の変遷をたどれます。

TEL 長久手市横道41-100
0561-63-5155



▲あいち航空ミュージアム

航空機のミュージアム誕生! 日本航空機製造が製造した双発ターボプロップエンジン方式の国産旅客機「YS-11」や三菱重工業が製造した双発のプロペラ機「MU-2」などが見られる実機の展示ゾーンもあり、航空機ファンはもちろん、ファミリーも楽しめる施設。

TEL 西春日井郡豊山町大字豊場(県営名古屋空港内)
0568-39-0283



▲ノリタケの森

緑あふれる敷地内では、陶磁器の工場やオールドノリタケを展示するミュージアムの見学が楽しめるほか、絵付け体験もできます。

TEL 名古屋市西区則武新町3-1-36 052-561-7114



▲安城産業文化公園デンパーク

デンマークをイメージした花と緑いっぱいの公園。手作りソーセージやガーデニング講座など体験メニューも豊富です。異国気分が味わえるレストランでマイスターが醸造したオリジナルビールを楽しんで。

TEL 安城市赤松町梶1
0566-92-7111



▲トヨタ産業技術記念館

織機機械と自動車を中心に、産業と技術の変遷を紹介しています。テクノランドではモノづくりの楽しさを遊びながら学べます。

TEL 名古屋市西区則武新町4-1-35
052-551-6115



▲INAXライブミュージアム

建築陶器に焦点をあてたユニークな企業ミュージアム。世界中のタイルが展示され、タイルの絵付け体験などもできます。中でも「光るどろんご作り」は大人気教室。

TEL 常滑市奥栄町1-130 0569-34-8282



▲ MIZKAN MUSEUM (MIM)

酢づくりの歴史や食文化の魅力などにふれ、楽しんで学べる体験型博物館。「マイ味ぽん」が作れるコーナーなど体験型の展示もユニーク!(※要予約)

TEL 半田市中村町2-6 0569-24-5111

歴史にふれる
醸造の



▲ 豊田市和紙のふるさと

植物繊維の染料で絵をつける小原和紙工芸。暗闇で光る蓄光和紙など珍しい和紙も見られますよ。

TEL 豊田市永太郎町洞216-1
0565-65-2953(和紙工芸館)
0565-65-2151(和紙展示館)



▲八丁味噌の郷

江戸時代に創業された味噌蔵を公開。味噌づくりの工程を学べます。八丁味噌ソフトもお試しあれ!

TEL 株式会社カクキュー八丁味噌
岡崎市八帖町往還通69 0564-21-1355



▲ 愛知県陶磁美術館

世界有数の陶磁器専門の美術館。陶芸体験や作家の器で茶を楽しむなど、陶芸の世界がぐんと身近に!

TEL 瀬戸市南山口町234 0561-84-7474



▲博物館明治村

明治時代を中心とした歴史的建造物を移築・保存・展示する野外博物館。レトロで新しい不思議な旅を満喫! 夜間ライトアップは期間限定。

TEL 犬山市宇内山1 0568-67-0314

玉屋庄兵衛のからくり人形

九代玉屋庄兵衛は、江戸時代から続く伝統の技を受け継ぐ日本唯一のからくり人形師。毎週金・土曜日に制作実演しています。

TEL 犬山市大字犬山字北古券69-2
0568-61-3932(からくり展示館)



こってりか、
あっさりか

「なごやめし」に代表される
“どえりやーうまい” 愛知の食文化。
新たなご当地グルメも続々誕生！

あいちのグルメ

こってり系グルメ



▲ 味噌煮込みうどん

濃厚な豆味噌つゆはもちろん、まさか「生え!?'とたじろぐ固ゆで麺の存在感!!この強烈な個性のぶつかり合いが、いずれやみつきに。



はるはる
あいしい
はるはる
あいしい

▲ ひつまぶし

まずは、おひつのごはんを四等分して
①鰻飯をそのまままで②薬味をのせて
③ダシを注ぎお茶漬けで④シメはお好みの食べ方で、
いただきま～す!美味♪



▲ 味噌かつ

昭和20年代初頭、とある屋台で客がどて鍋の中へ串カツをドボン!→ウマっ!となって、いつしか名物になりました。



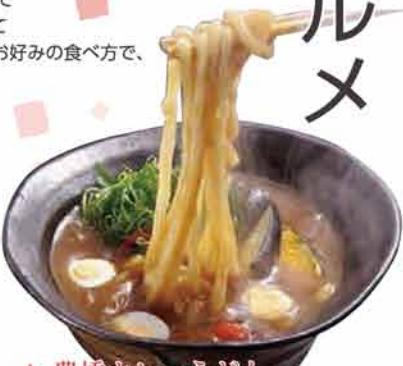
▲ 手羽先

下味をつけた手羽先を二度揚げしてカリッと仕上げ、甘辛ダレやスパイスで味をつけるため「ビールにぴったり!」と居酒屋で人気です。



▲ 台湾ラーメン

実は台湾に存在しない名古屋名物の激辛ラーメン。辛さ控えめの「アメリカン」(でも辛い)、辛さ倍増の「イタリアン」もあります。



▲ 豊橋カレーうどん

パッと見は普通のカレーうどん。しかし食べ進めると下からとろろご飯が出てきて、最後は雑炊風になる「2層構造」。最初から箸で全部混ぜて食べるのをご法度です。

あっさり系グルメ



▲ フグ・タコなどの海の幸

甘みがあって茹でても固くならない日間賀島特産の「タコの丸茹」では、通年料理の主役級。冬の王様フグは「てっさ」「てっちり」「唐揚げ」などで召し上がり!



▲ 菜めし田楽

豊橋のイチオシ、豆味噌をのせた串焼き豆腐。大根の葉を混ぜた菜めしとの組み合わせが最高です!



▲ 濑戸焼そば

豚肉をしうやで甘辛く煮た汁出で味付けされ、瀬戸物の器に盛られているのも特徴です。



▲ きしめん

名古屋が誇る昔ながらのファーストフード。新幹線ホームの立ち食いきしめんはぜひ食べるべし。



▲ ガマゴリうどん

ご当地うどんの全国大会で三冠を達成した日本一のうどん。わかめやアサリなど海の幸がごろごろ。



三河ポーク、大アサリ、生しらすなど、海の幸・山の幸の豊富な渥美半島の名物が、数々の丼に!全36店舗の個性豊かな丼を食べ歩き、街道を制覇してみては?

どんぶり街道：渥美半島観光ビューロー ☎ 0531-23-3516

小倉トースト&モーニングサービス



「モーニング」とは喫茶店でドリンクを頼むと無料でついてくる朝食サービスのこと。一宮と豊橋に発祥説があると言われている。ちなみに小倉トーストは名古屋の喫茶店で生まれたんです。

カワイイ! ?スイーツ



- ①うずらプリン
- ②てづくりどうぶつえん
- ③抹茶の大判焼
- ④鬼まんじゅう
- ⑤ういろう

匠による
伝統の技!

あいちの工芸・特産品

丹念な手仕事によって受け継がれてきた伝統の技、文化の奥深さを体感できるスポットや逸品をご紹介。



▲常滑やきもの散歩道

細い路地や土管板、登り窯などが今も残る焼き物のまち常滑は「招き猫の生産量日本一」。とくなめ招き猫通りにはユニークな招き猫が50体も並んでいます。

■ 常滑市栄町周辺
☎ 0569-34-8888
(常滑市観光協会)

焼き物めぐり



▲招き猫ミュージアム

日本最大規模の「招き猫ミュージアム」。愛好家のコレクション数千点の瀬戸の猫ちゃんに出会えます。

■ 濑戸市薺師町2
☎ 0561-21-0345



▲瀬戸蔵

飲食店や瀬戸焼、招き猫などを扱うショップなどが集まる複合施設。2階に「瀬戸蔵ミュージアム」があり「せとでん」の実車両や陶房など20世紀の瀬戸の街並をリアルに再現しています。

■ 濑戸市蔵所町1-1 ☎ 0561-97-1555

地酒めぐり



▲モッコウバラの花酵母酒

半田市の天然記念物「白モッコウバラ」の花酵母から醸造された日本酒。記念日にぴったりなスイートなお酒です。

中塩酒造株式会社
■ 半田市東本町2-24
☎ 0569-23-1231



▲関谷醸造

地元の銘酒「蓬莱泉」「吟」「空」「美」で知られる関谷醸造。ほうらいせん吟醸工房では「蓬莱泉」生原酒の量り売りや工房見学、日帰り酒造り体験もできます。

ほうらいせん吟醸工房
■ 豊田市黒田町南水別713
☎ 0565-83-3601



伝統工芸品めぐり



▲有松絞り

「東海道中膝栗毛」の主人公、弥次さん喜多さんも買い求めたという「有松絞り」。400年以上続く絞り染めの技法にも挑戦できますよ。

有松・鳴海絞り会館
■ 名古屋市緑区有松3008
☎ 052-621-0111



▲豊橋筆

筆によくなじみ、滑るような書き味に定評がある豊橋筆。伝統工芸士の指導による筆作り体験もあります。

筆の里嵩山工房
■ 豊橋市嵩山町下角庵1-8
☎ 0532-88-2504



半田赤レンガ建物



明治時代にビール工場として建てられ、当時の姿をそのまま残す半田赤レンガ建物。ここでしか味わえない「幻のかぶつビール」をぜひ!

■ 半田市桜下町8 ☎ 0569-24-7031

特産品めぐり

豆味噌

長時間熟成される豆味噌は、煮込めば煮込むほど美味しさを増す魔法の調味料。愛知を代表する多くの煮込み料理に使われます。



えびせんべい

愛知県はえびせんべいの生産量日本一。獲れたての海老をすぐ加工。潮の香りを封じ込めた逸品です。



西尾の抹茶

日本有数の抹茶の生産地、西尾市。茶臼で抹茶をひく抹茶作り体験や抹茶スイーツも人気です。



守口漬

細長~い守口大根を、酒粕や味噌粕で2年余の年月をかけて、黄金色に漬けこみます。



豊橋ちくわ

路面電車が走る街・豊橋の冬の風物詩が「おでんしゃ」。寒い夜に、江戸時代後期から名産品ちくわのアツアツおでんは最高です!(運行期間:11月上旬~2月下旬(予定))

あいちの名所めぐり

西三河エリア



徳川家康公の故郷・岡崎のある西三河は自然に恵まれた名所揃い! いっせんおいでん



あっさり男子
爽やかなイケメン。
見た目はクールでも
愛知を愛する
熱い心の持ち主。

こっこり男子
顔は温かいわのお祭り男。
気は優しく力持ち?
愛知を愛する気持ちは
誰にも負けない!



① 徳川家康公生誕の地岡崎城

西三河
エリア

江戸幕府将軍家のルーツが今に息づく
江戸幕府の徳川将軍家発祥の地「松平郷」は、
静かな山村でありながら
パワーに満ちた場所。
松平東照宮には家康公の
産湯に用いた水を汲んだ
といわれる井戸が。(豊田市)



② 約4000本の紅葉で真っ赤に染まる香嵐渓



③ あじさいラインと呼ばれる三ヶ根山スカイライン



⑤ 約300本の四季桜が魅了する秋の小原



② 日本の情けしき原風景が広がる四谷千枚田



**滝つぼから出る“気”に
心も身体も癒される**
落差43mで愛知県最大の百間滝は、水しぶき
のマイナスイオン効果に
加え、日本最長の断面帯・
中央構造線に沿っている
ため“気”的”パワーに満ち
ています。(新城市)

④

食べ放題が大人気の
運営のメロン狩り!



⑤ 春の訪れを一足早く告げる運営の菜の花



④ 東三河
エリア

岡崎城 (岡崎市)

徳川家康公生誕の地であり、天下統一の起点ともなった城。1階には旧天守の心柱だった礎石が当時のまま残っており、パワースポットとしても知られています。

名鉄名古屋線「東岡崎駅」より徒歩約15分

0564-22-2122 ((一社)岡崎パブリックサービス)

香嵐渓 (豊田市)

全国にその名を知られる紅葉の名所。巴川の両岸は約4000本ものカエデが覆いつくし、水面を紅一色に染め上げます。夜間のライトアップも趣があり素敵です。

名鉄豊田線「淨水駅」よりバス、「香嵐渓」バス停より徒歩約3分

0565-62-1272 (足助観光協会)

三ヶ根山スカイライン (西尾市)

夜景スポットとして人気で、西尾市から形原温泉(蒲郡市)まで標高326mの尾根を走る5.1kmの道路。早春には約7万球のスイセンが、6月には沿道の約7万本のアジサイが美しく咲き誇ります。

0563-62-3001 (三ヶ根山スカイライン料金所)

佐久島 (西尾市)

三河湾に浮かぶ佐久島は、海水浴や釣りが楽しめる島。島中いたるところにアート作品が点在し、自然と同化しているのもユニーク。自転車で島めぐりも楽しいですよ。

名鉄西尾線「西尾駅」よりバス、「佐久島行船のりば」より船で約25分

0563-72-9607 (西尾市役所 佐久島振興課)

小原の四季桜 (豊田市)

豊田市の小原ふれあい公園には、春と秋に花を咲かせる四季桜が約300本も植えられており、秋には紅葉と桜が同時に見られる不思議な光景が!

名鉄三河線「豊田市駅」よりバス、「小原大草」バス停より徒歩約3分

0565-65-3808 (小原観光協会)

東三河 エリア



豊かな実りに恵まれ
「ほの国」と
呼ばれた東三河は
花の王国

1 茶臼山高原の芝桜 (豊根村)

日本で最も高い標高の芝桜の花畠。南アルプスの山々と清らかな川の流れを6色の芝桜で描いた「天空の花回廊」がとってもキレイ!リフトから見ると芝桜の上を飛んでいるかのようです。

0536-87-2345 (茶臼山高原)

2 四谷の千枚田 (新城市)

奥三河にひっそりと存在する四谷の千枚田。約400年前に開墾された美しい棚田は、日本の原風景を見るようです。写真を撮るなら、夕方の日没直後と早朝の「ブルーモーメント」を狙って。

JR飯田線「本長篠駅」よりバス、「滝上」バス停より徒歩約40分

0536-29-0829 (新城市観光協会)

3 竹島 (蒲郡市)

国の天然記念物に指定されている蒲郡のシンボル。“縁結びの橋”と呼ばれる全長387mの竹島橋で結ばれています。縁結びに御利益のある「八百富神社」にも立ち寄ってみて。

JR東海道本線「蒲郡駅」より徒歩約15分

0533-68-3700 (八百富神社)

4 メロン狩り (田原市)

温暖な渥美半島はメロンの王様・マスクメロンの名産地。6月~10月にかけて6つの農園でメロン狩りが行われます。甘くてジューシーなメロンを楽しんで!

0531-23-3516 (渥美半島観光ビューロー)

5 菜の花畠 (田原市)

1月から渥美半島のいたるところで見られる菜の花畠。中でも最も広い「伊良湖菜の花ガーデン」では一面の黄色に圧倒されます。恒例の「菜の花まつり」では花摘みもできますよ。

0531-23-3516 (渥美半島観光ビューロー)



愛知への
アクセス
情報

大阪へ

金沢へ

伊勢へ

長野へ

長野県



東京から
新幹線のぞみで
1時間40分



名古屋市内をぐるっとめぐる、観光ルートバスです!

- 乗車料金／1乗車【大人 210円】[小兒 100円]
1DAYチケット【大人500円】[小兒250円]
- 運行日／火曜～日曜
- 運休日／月曜(休日の場合は直後の平日) および年末年始
(12月29日～1月3日)
- 運行時間／土・日・休日 [20～30分に1本運行]
平日 [30分～1時間に1本運行]



※注意 17:00発の帰路は名古屋城・四間道・ノリタケの森・トヨタ産業技術記念館は立ち寄りません。

こってり愛知

de首都圏 愛知県観光プロモーション公式サイト



首都圏向けの観光プロモーション公式サイト 「こってり愛知de首都圏」

首都圏で開催される「愛知の観光物産展」などのイベント
情報をいち早くお知らせするほか、
なごやめしをはじめとする愛知のグルメや県産品、
観光スポットなどの愛知の魅力を紹介しています。
こってり愛知de首都圏に遊びに来て下さいね!

首都圏向け観光プロモーション公式サイト
「こってり愛知de首都圏」

<http://kotteri.jp/>



Facebookでも最新の情報を配信中!!

<https://www.facebook.com/kotteri.jp/>



未来クリエイター
愛知
AICHI 2018
Destination Campaign
想像を超える旅へ。

愛知の公式観光ガイド
Aichi Now
OFFICIAL SITE FOR TOURISM AICHI
<http://www.aichi-now.jp/>

発行：愛知県振興部観光局観光振興課
〒460-8501名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL:052-954-6355 FAX:052-973-3584
<http://www.pref.aichi.jp/kanko/> 平成28年2月発行 平成30年9月改訂